

帰国報告書 経済学科4年 北野 満ちる
(2017年9月～2018年6月 アメリカ：サザンオレゴン大学)

2017年9月から2018年6月までの10カ月間、アメリカのオレゴン州にある大学に留学しました。現地では、専攻である経済学を中心に会計学や金融学などの授業も履修しました。留学したての頃は、教授の言っていることがほとんど分からず落ち込むこともありましたが、徐々に生活にも慣れ、英語力も向上しました。留学中は、リーダーシップキャンプに参加したり、ハイキングやラフティングなどをしました。自然が豊かなオレゴンでの生活を充実したものにできました。現地では色々な出会いがあり、サンクスギビングの食事などアメリカの文化を体験することもできました。冬休み期間には、友達とアメリカを旅行したりと、さまざまな事を経験しました。また、アメリカで経済を学ぶことで、新たな視点で世界の経済やアメリカ経済、日本経済を見ることができました。元々、海外に憧れがあり、海外は日本よりも素晴らしいものだと思っていました。しかし、アメリカでは多くの日本製品が人々の生活を支え、一部となっていました。日本車はもちろん、授業で使用するプロジェクター、楽器、食べ物など私の思っていた以上に日本製品が海外で浸透していることに驚かされました。また、授業でも日本の名前が頻繁にでてきます。アメリカと密接な関係があることに加え、経済大国であること、技術や製品の質においてトップクラスの国であることを実感しました。この留学を通して、様々な点において、視野を広げることができたと感じています。私はあまり裕福な家庭ではないので、奨学金がなければ、留学をしていたか分かりません。小さい頃からの夢であった海外留学を経験し、あらゆる面で自分を成長させることができました。とても感謝しています。